

木造建築物の構造設計支援ツールの開発

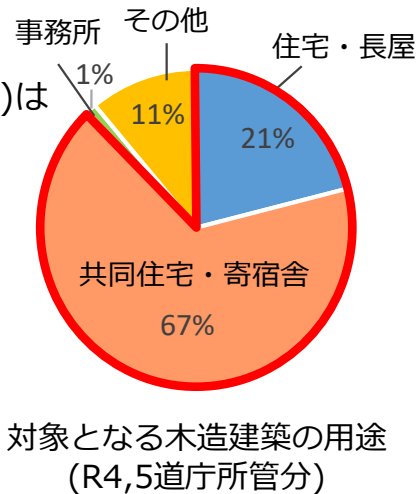
背景

中小規模の木造建築物では、詳細な構造設計が義務化されたことから新たに木造の構造設計に取り組む技術者への支援が求められている。

成果

1 対象とする構造部材

義務化の対象となる
木造建築物(延床300~500㎡)は
主に共同住宅等



「壁、屋根、床」を
適切な強さとすることが重要

期待される効果

中小規模の木造建築物の構造設計を支援することで、合理的な設計と、北海道内の木造建築物の普及・促進に貢献する。

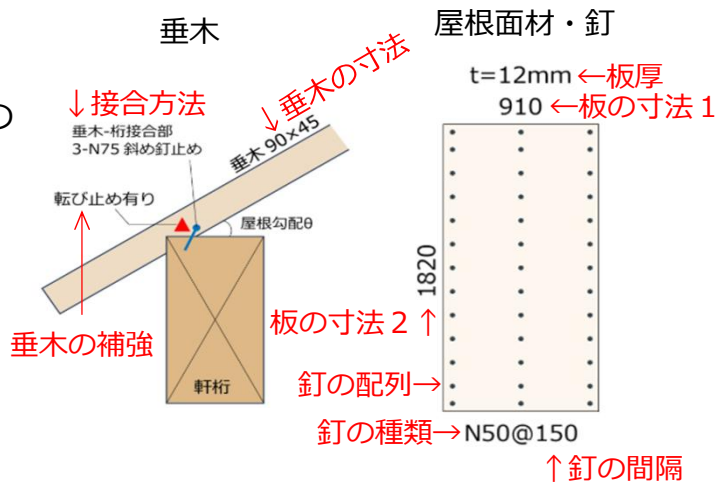
2 設計支援ツールの開発

目標とする強さの実現には、
多様なパラメータ(右図赤字)の
総合的な設計が必要

パラメータの組合せを提案する
ツールを開発



開発したWEBツール一覧



設計支援ツールの提案の例(屋根)